



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.11 No.2485

2014～2015年度 国際ロータリーテーマ



2014～2015年度RI会長 ゲイリーC. K. ホアン

2014～2015年度士別ロータリーのスローガン

「呼び起こそう、輝きを」



- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:10
- 事務所／士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
- 会長／宮崎隆雄 ■副会長／北村浩史
- 幹事／坂口芳一

今日のプログラム 第2566回例会 2014年10月6日(月)…〈普通例会〉

■9月29日の記録■ 夜間例会

- 司 会 佐藤元信 会場監督
- 斉 唱 それでこそロータリー
- 本日の出席 会員46名中 出席者46名 出席率100%
- 本日の欠席
- メイクアップ 阿達 勇、伊藤優一、織戸俊二、片庭隆暁、國森和磨、坂口芳一、佐藤元信、志村孝幸、田中道也、谷 温恵、千葉繁夫、近井孝義、奈良康弘、深尾幸夫、宮崎隆雄、山口哲雄、山本俊一 (9月24日、秋の交通安全運動)
- ピジター
- ゲスト
- ニコニコBOX 佐藤元信(下川ロータリークラブ50周年抽選会優勝として)

累計105,000円

例 会 予 定

- 10月の予定……《職業奉仕月間・米山月間》
 - 10月6日(月)／例会・理事会
 - 10月13日(月)／休会(法定休日：体育の日)
 - 10月20日(月)／例会
 - 10月27日(月)／夜間例会
- 11月の予定……《ロータリー財団月間》
 - 11月3日(月)／休会(法定休日：文化の日)
 - 11月10日(月)／例会・理事会
 - 11月17日(月)／夜間例会
 - 11月24日(月)／休会(振替休日：勤労感謝の日)

■会務報告宮崎隆雄会長

●9月24日 士別市政経懇話会「ひぶな会」主催による市民講演会とその後場所を変え開催された「士別ふるさと大使松井エイコ氏との懇親会」に出席して参りました。「生きる輝きを求めて」をテーマに壁画家松井エイコさんが自身の幼少の頃から壁画家として成功された現在迄の経験を独特の優しい口調で話して下さいました。士別市内での松井さんの作品は5丁目通りを東に走り、中央通り郵便局を超えた8条通りの信号の北側のふれあいの道公園の壁画と、士別市立北星保育園の壁画を紹介頂きました。また、全国各地での講演の際にはこの写真と共に士別市の紹介も欠かさず含めて頂いているとの事でした。

最後には、自身が描かれた紙芝居も披露下さいました。このタイトルは「二度と」と言い日本が受けた原爆被災をテーマに世界の平和の実現を願う平和紙芝居でありました。松井エイコさんのプロフィールは各テーブルの資料にてご覧ください。10月5日(日)迄、いぶきの地階にて壁画写真の展示がされています。皆さん、時間を見つけてご覧になるのをお奨め致します。また、懇親会では、ひぶな会会員が20名程参加され当クラブからも相山会員、千葉繁夫会員、大野会員が参加されておりました。お疲れ様でした。

●昨日、28日(日)は下川RC50周年記念式典に参加して参りました。参加者143名で当クラブから24名の登録を頂き、バスにて往復して参りました。下川RCは10名の会員数にも関わらず、工夫し協力し合って見事な式典・懇親会を開催されておりました。また、本山ガバナー補佐に置かれましては大役お疲れ様でした。

■幹事報告坂口芳一幹事

●昨日28日、下川RC創立50周年記念式典に当クラブより本山ガバナー補佐と共に25名の参加をもって終了致しました。参加者25名をメイクアップとさせて頂きます。参加されました会員の皆様、大変御苦労様でした。

●地区大会基調講演の講師並びに記念講演の講師の決定案内が来ております。今日日程案内と共に皆様にお配りしますのでお願い致します。

●第34回ライラセミナーの報告書が届いております。参加されました青少年の方には後程届けたいと思います。

■委員会報告

●プログラム委員会…北村浩史前プログラム委員長

昨年プログラム委員長をして、湧口さんというドラックレースの方、時速300キロ以上でバイクで直線を走るという方のゲスト卓話を予定していましたが、なかなか日程の調整が出来ず今年にずれ込んでしまったのですが、日程を組んで頂き、10月20日にゲスト卓話として決まりました。

湧口さんという方は健友の社長をなさっています。年齢は48歳くらいです。2012年に札幌モーターショーに彼だけが個人でブースを持つことが出来たすごい人です。その方のスピードの限界に挑戦する話を聞きたいと思っております。話によるとホテルにバイクを展示出来ればということで、搬入が可能ならば展示して頂きましてお話を聞きたいと思えます。彼が出場するレースというのが10月5日に愛別の飛行場で行われます。湧口さんのレースを是非見たいと何人かの方が行く予定にしております。入場料が1,000円掛かりますが、もし行って見たい方がおりましたら車の手配等も考えましてツアーを組んで行こうかと思えます。ご希望の方があれば宮崎会長の方にご連絡頂ければ皆さん方と行きたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

■秋の交通安全に伴う 人の波・旗の波作戦(9月24日)



また、士別地方技能士会、10年に1回、『周年記念式典』も開催致しております。前回開催をしたのが平成20年4月ですので実に6年前の開催となるわけであり、その当時は全会員数が77名程おりましたが、今日現在の会員数が62名という状態ですので、4年後となる50周年の大いなる節目の周年開催を考えると、果たして無事にその周年を実施することが出来るのかという一抹の不安は隠しきれないところがございます。私自身と致しましても、何とか50周年記念式典はある程度の中での確りと行ってきたいものだと考えているところがございますが、それには確りとした実行委員会組織とその各部会に於けるリーダーシップ溢れる会員の適正配置、含めて部会毎に要となる会員の配置が必要不可欠だろうと思うところでありますが、なかなか容易ではないなと感じているところでもございます。士別地方技能士会創立50周年記念式典の挙行と成功。それにはここにお集まりの皆様のご技能士というものに対する温かいご理解と士別地方技能士会への更なるご協力が必要不可欠であると私自身強く思うところでございます。

最後になりますが、ものづくり大国日本と言われていた我が国はいつしか産業経済成長の波に押され、職人そのものの数も減少し、ものづくりそのものの存在というものが薄れてきているように思えて私は仕方がありません。現にそういった事を思わせる報道番組やニュースを見るのも珍しい事ではなくなっているように感じます。このままいけば建物が建ちにくくなるのは勿論の事、建物の劣化部分の補修すらもなかなか出来なくなる。この国がそんな国になってしまう可能性が少なくないのではなかろうかとさえ思えてしまいます。そのような中で我々士別地方技能士会、微力ながらも技能士の重要性と必要性に対する理解の輪を少しでも広める事が出来るよう、今後共活動していけたらと思うところであります。結びになりますが、士別ロータリークラブ入会早々に宮崎会長より本日の卓話の打診を頂き、そのお陰で私自身も士別地方技能士会という団体の歴史を紐解く良い機会となりました。このような機会を与えて頂きました、谷プログラム委員長はじめお集まりの皆様に感謝申し上げます。ご清聴、ありがとうございました。